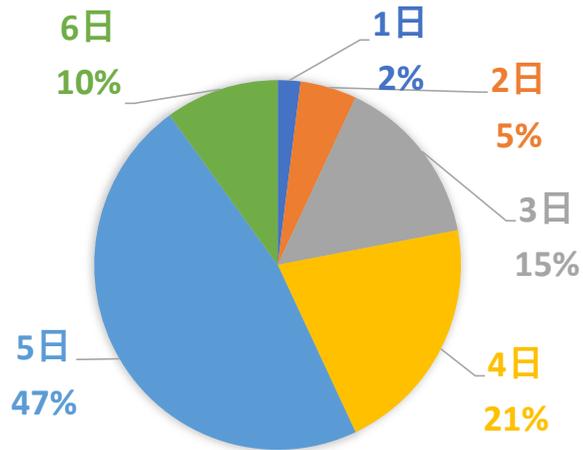


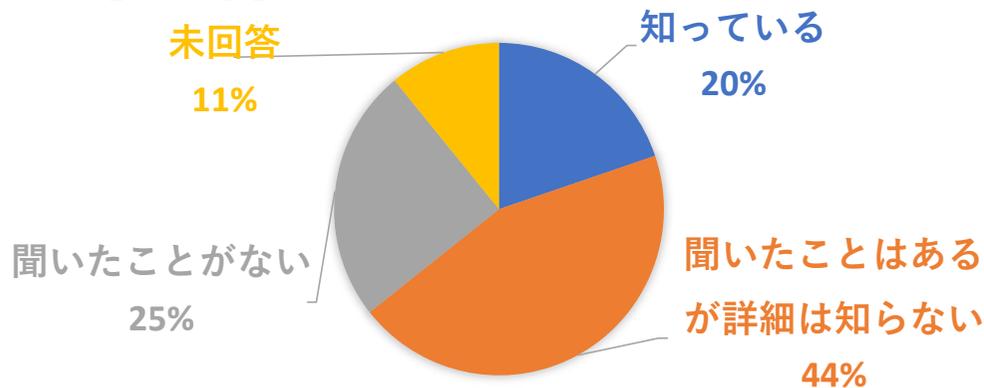
【1. 育成センターと民設学童保育の在り方について】

Q：育成センターを週何日利用しているか。
【資料①】



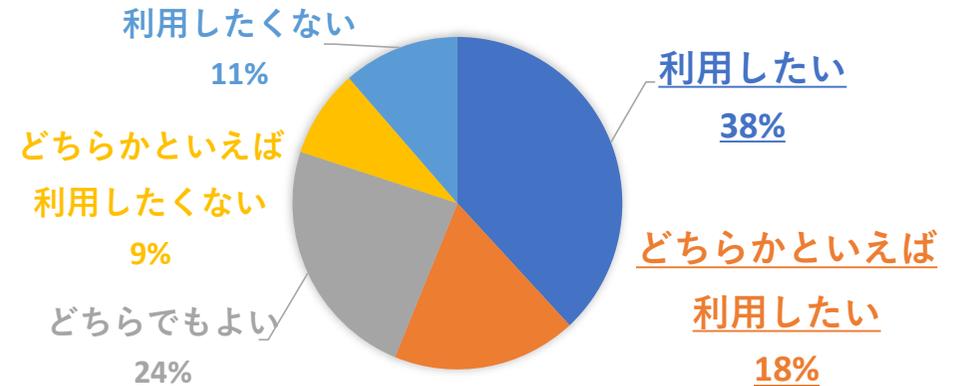
週に3日以下の利用が20%以上

Q：民設放課後児童クラブについて知っているか。
【資料③】



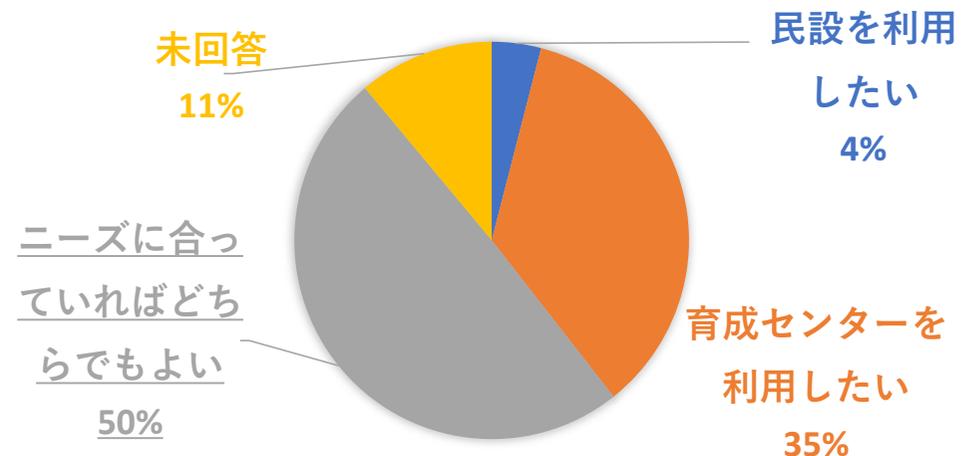
民設学童保育は認知度の低さが課題

Q：受入れ学年の拡大（4年生以上の児童）がされた場合、利用を続けたいか。【資料②】



4年生以上の受入れの場合の継続要望率が約60%

Q：居住地近辺に民設学童あった場合に、民設、育成のどちらを利用したいか。【資料④】



半数の育成センター利用者は育成センターでも民設でも「ニーズに合っていればどちらでもよい」と回答

【2. ペーパーレスの推進と電子契約について】

東京都における紙の使用枚数

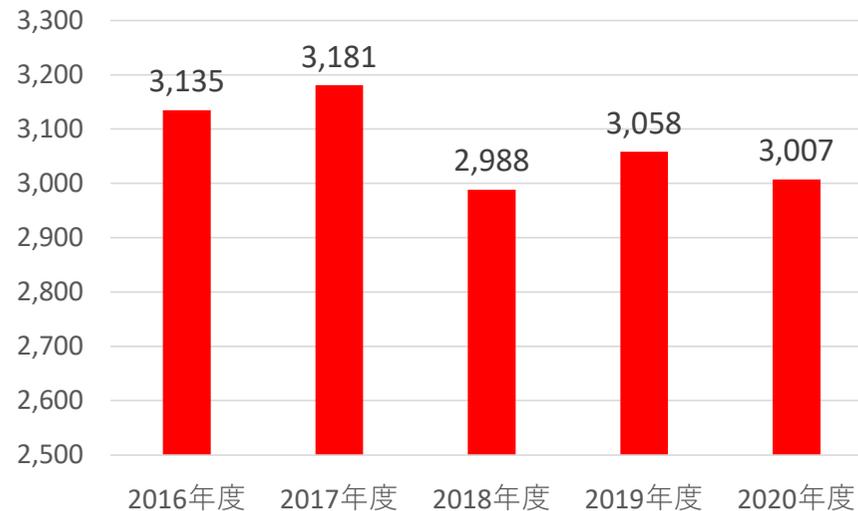
紙調達枚数の推移（累計値）

出典：東京都 シントセイHP



西宮市における紙の使用枚数（万枚）

出典：環境局提供データを編集



東京都では2021年度が2016年度比で▲55.1%に対して、西宮市では2020年度が2016年度比で▲4.2%に留まる。【添付資料⑤】

項目	2022年度目標	2022年5月末	前年同月比較
ペーパーレス	コピー用紙：▲70%(2016年度比) 約6,000万枚	約840万枚	約2,100万枚 (▲約1,260万枚)
FAXレス	FAX件数：▲98%(2019年度比)	▲99.1%	▲86.7% (12.4ポイント改善)
はんこレス	電子決定率：100%	99.3%	92.9% (6.4ポイント改善)

東京都のように進捗状況を公表することは、環境学習都市としてのアピールにもつながる！

【添付資料⑥】

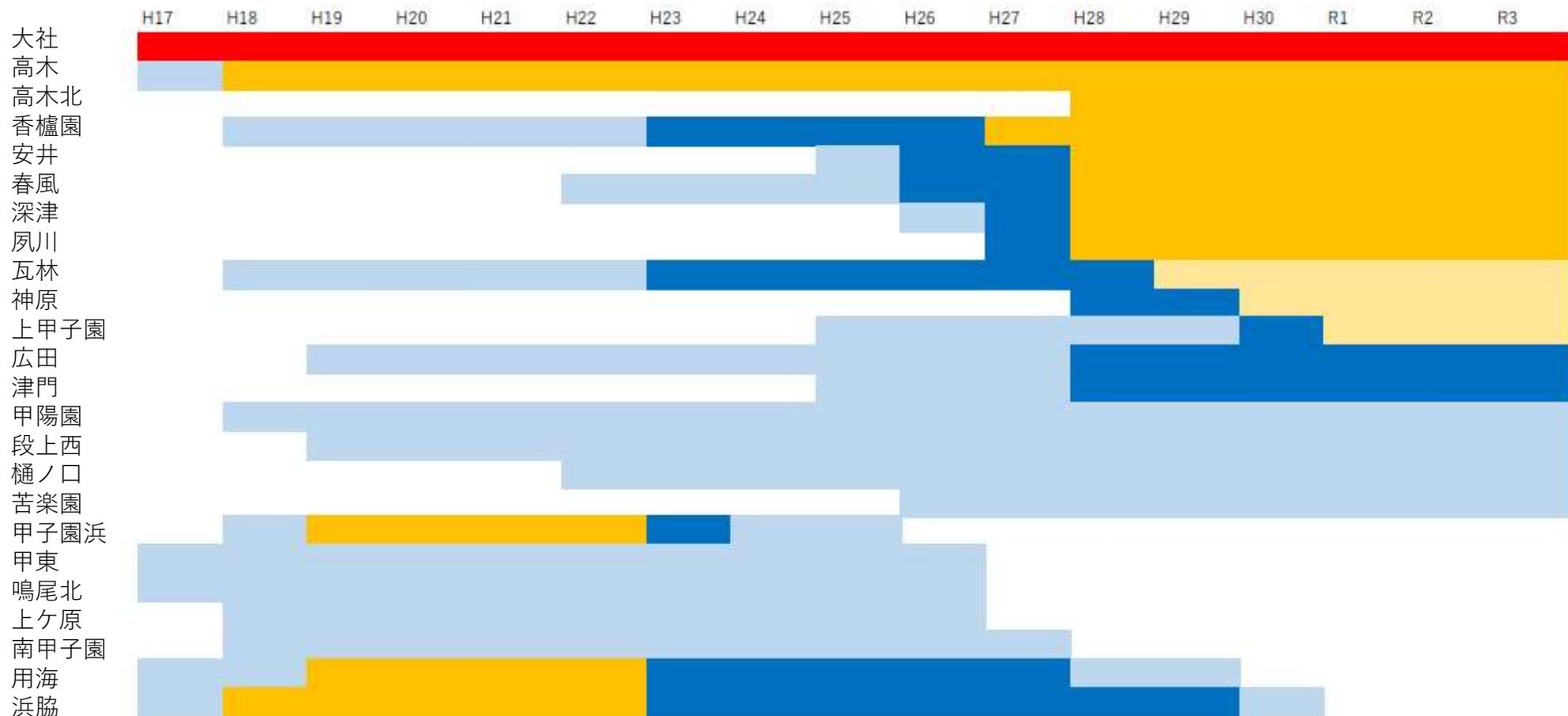
出典：東京都 シントセイHP

【3. 3. 教育環境保全のための住宅開発抑制に関する指導要綱の地区指定の見直しについて】

○地区指定の変遷

【添付資料⑦】

出典：教育委員会



※ 監視地区は平成23年度～、特別監視地区は平成29年度～設置

- ・大社小学校区は16年間に渡り、受入困難地区が継続。（9戸までの開発抑制）
- ・準受入困難地区以上（29戸までの開発規制）の緩和はH23年から行われていない。

受入困難地区

準受入困難地区

特別監視地区

監視地区

予測地区

完成年度	学校名	種別	増普通教室数	完成年度	学校名	種別	増普通教室数
H27年度	上甲子園小	増改築	7	R1年度	香櫨園小	増改築	6
H27年度	南甲子園小	増改築	5	R2年度	春風小	増改築	6
H27年度	高木北小	新設	24	R4年度	安井小	増改築	5
H30年度	深津小	増築	6	R6年度	瓦木中	増改築	6

【添付資料⑧】

出典：教育委員会

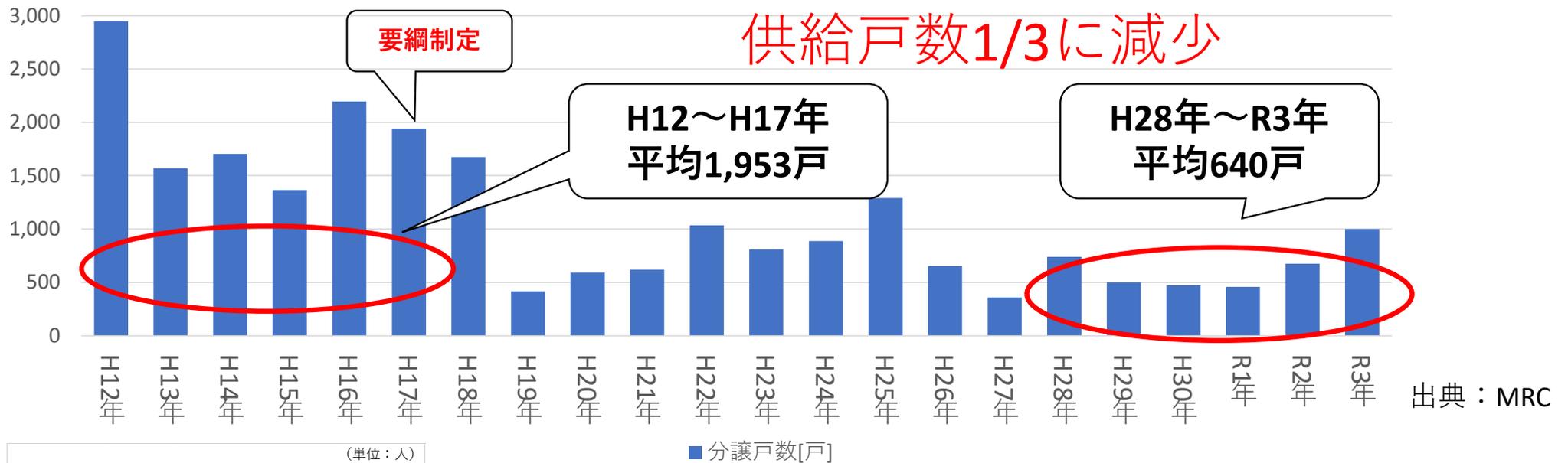
番号	学校名	実績																	R4前期推計					MAX			
		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	年度	実績
1	大社小	20	21	22	22	22	22	22	23	22	22	23	22	23	21	19	19	18	18	18	18	18	19	18	19	H29	23
2	高木小	26	30	33	36	37	35	35	33	34	34	36	20	21	22	24	24	23	23	24	24	24	22	21	20	H21	37
3	高木北小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	18	18	18	18	20	19	19	19	19	19	18	18	R3	20
4	香櫨園小	21	24	25	27	28	28	28	27	26	27	29	30	29	30	32	32	30	30	30	30	29	27	27	26	R2	32
5	安井小	18	20	21	22	21	22	22	20	21	22	22	23	23	23	24	23	23	23	23	22	22	21	21	21	R1	24
6	春風小	22	25	24	25	26	27	27	28	28	31	30	29	29	29	30	29	30	30	30	29	29	27	26	25	H26	31
7	深津小	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	13	14	15	16	17	18	19	21	22	22	22	21	20	21	R4	21
8	夙川小	23	26	25	26	27	25	24	24	24	25	26	25	26	28	29	29	28	29	29	30	30	30	30	28	R4	29
9	瓦林小	19	21	22	24	25	26	26	27	28	28	29	27	27	25	25	24	23	21	19	20	19	19	18	18	H27	29
10	神原小	13	14	15	17	16	16	16	15	16	15	16	16	16	16	15	17	16	16	18	18	17	17	16	15	R2	17
11	上甲子園小	16	18	18	18	19	19	19	19	19	20	20	19	20	21	21	21	22	23	23	23	23	22	21	21	R4	23
12	広田小	23	25	26	27	28	28	28	28	28	28	28	28	27	28	26	25	25	24	25	26	26	26	26	26	H30	28
13	津門小	19	20	21	22	23	23	23	23	22	20	21	21	21	22	22	22	24	22	22	22	22	22	20	20	R3	24
14	樋ノ口小	26	26	27	28	28	28	26	27	28	28	28	28	27	26	26	26	27	28	28	29	30	30	30	30	R4	28
15	用海小	19	20	21	23	24	23	23	22	24	25	24	24	24	23	22	21	20	18	18	18	18	18	18	17	H26	25
16	浜脇小	24	26	26	28	30	32	34	33	33	33	30	30	30	29	29	29	28	26	23	23	22	21	20	20	H23	34
17	瓦木中	18	17	19	19	20	20	23	24	25	25	25	26	25	24	23	22	22	21	21	21	21	21	21	20	H28	26

【資料⑨】 出典：教育委員会提供データを編集

- 受入困難地区
- 準受入困難地区
- 特別監視地区
- 監視地区
- 予測地区

クラス数の推移を抜粋。色付きが過去最多を記録した年。大社、香櫨園、高木、高木北、安井、春風などはピークを越えても規制を継続中。

西宮市内のマンション供給戸数と平均価格の推移【資料⑩】



(単位：人)

新築マンションの居住者 (合計197戸)				
年齢階層 (歳)	計	割合	左記の再掲	
			市外から転入	市内から転居/出生
0～4	75	14%	17	58
5～9	50	9%	22	28
10～19	29	5%	11	18
20～29	33	6%	8	25
30～39	149	28%	63	86
40～49	98	18%	37	61
50～59	45	8%	23	22
60～69	36	7%	17	19
70～	18	3%	13	5
合計	533	100%	211	322

- ・西宮市内のマンション供給は大幅に減少。(近畿圏でも38,926戸→19,945戸と当時より半減。)
- ・100戸のマンション供給 → 1学年当たり約3人増。(市内外からの転出入を考慮しない。)
- ・上記計算より600戸供給されても、20人ぐらいしか増えない。

新築マンションの供給を制限することが教室不足とリンクしていないのではないか。

※R1年とR3年に引き渡しされた2物件、合計197戸の西宮市内の物件で2022年4月末時点でいずれかの住所に住民票がある人数【資料⑪】 出典：市民局から取得データを編集